

平成15年度 全国中学校体育大会 15
第33回 全国中学校バスケットボール大会

輝く瞳 燃える情熱 ~若人の夢 この北の大地に~

【試合結果】

男子		予選Gリーグ	
日時	平成15年8月22日(金)	10:50 ~	
会場	札幌美香保体育館	Gコート	第2試合
結果	藤田 (大阪)	56	美川 (石川) 35
主審	會澤 伯民(茨城)	副審	比本 真司(香川)

【戦評】

男子G-1

近畿1位で出場の藤田と北信越2位で出場の美川のリーグ第1試合である。開始そうそう美川#4のドライブが決まりゲームが始まったが、藤田もすぐに#9のリバウンドショットで応戦。藤田は厳しいプレッシャーハーフマンツーマンからブレイクを中心にゲームの主導権を握る。対する美川はカウント後、オールコートの2-2-1ゾーンプレスからハーフの2-3ゾーンで対抗。オフェンスもPG#5を中心にフォーメーションから#14の3P、ポストプレー、#4の1on1などで流れをつかもうとするが、第1クォーター残り3分からはノーゴールの間に藤田に4本連続決められ、藤田18-8美川となる。第2クォーターも流れは変わらず藤田はブレイクから#4の力強いレイアップで得点を重ねる。美川も#4の鋭いドライブや#14のリバウンドショットなどで対抗するが、前半を藤田12点リードで折り返す。後半、第3クォーター3分51秒、藤田39-24美川となったところで美川はスタメンを5人とも下げ、サブメンバーにチェンジ。藤田も同様に残り1分40秒にはスタメンを一人残し、サブメンバーとする。第4クォーター、藤田はスタメン、美川中はサブメンで開始。残り3分30秒。藤田54-29美川となったところで藤田もサブメンに切りかえ、両チームとも次のゲームに備えた感がある。ゲームはそのまま終了し、22点差をつけて、藤田が勝利した。両チームともしっかりとしたセンターを擁し、ファンダメンタルが身についた好チームであった。藤田は#4と#5のガードコンビが非常にパワフルであり、#7のアウトサイドシュートとバランスがとれていた。美川も#4のしなやかなドライブと#13、#14の両センターの頑張りが目立つ素晴らしいチームであった。

大浦 浩(恵庭恵明)

【個人トータル表】

藤田(大阪)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	本井 達也	16	1	6	1	1
5	奥野 好弘	4	0	2	0	1
6	竹田 聖弥	4	0	2	0	1
7	記 剣士郎	12	0	6	0	2
8	佐藤 真彦	0	0	0	0	1
9	平井 清貴	11	0	4	3	2
10	北風 智也	6	0	3	0	0
11	大瀬良 厚記		0	0	0	0
12	大久保 孝弘	3	1	0	0	0
13	0					
14	田弘 聖太郎	0	0	0	0	0
15	0					
16	大水 優太	0	0	0	0	0
17	島田 晃司					
18	丸元 啓生	0	0	0	0	0
	合計	56	2	23	4	8

美川(石川)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	平岡 明	6	0	2	2	2
5	濱屋 史篤	2	0	1	0	0
6	世戸 龍之介	2	0	1	0	2
7	尾嶋 慧					
8	長田 和真	6	0	3	0	2
9	南任 達也					
10	一川 智史	0	0	0	0	0
11	松井 勇輔					
12	澤井 康太	2	0	1	0	1
13	西田 一之	2	0	1	0	1
14	小向 純貴	7	1	1	2	3
15	川岸 裕貴					
16	北嶋 剛光	3	1	0	0	1
17	中西 亮太					
18	山田 将史	5	1	1	0	0
	合計	35	3	11	4	12

【リーグ戦績】

	藤田 (大阪)	江陵 (北海道)	美川 (石川)	勝敗	順位
藤田 (大阪)			56 (18-8, 16-14, 12-2, 10-11) 35	1勝 0敗	位
江陵 (北海道)				0勝 0敗	位
美川 (石川)	35 (8-18, 14-16, 2-12, 11-10) 56			0勝 1敗	位